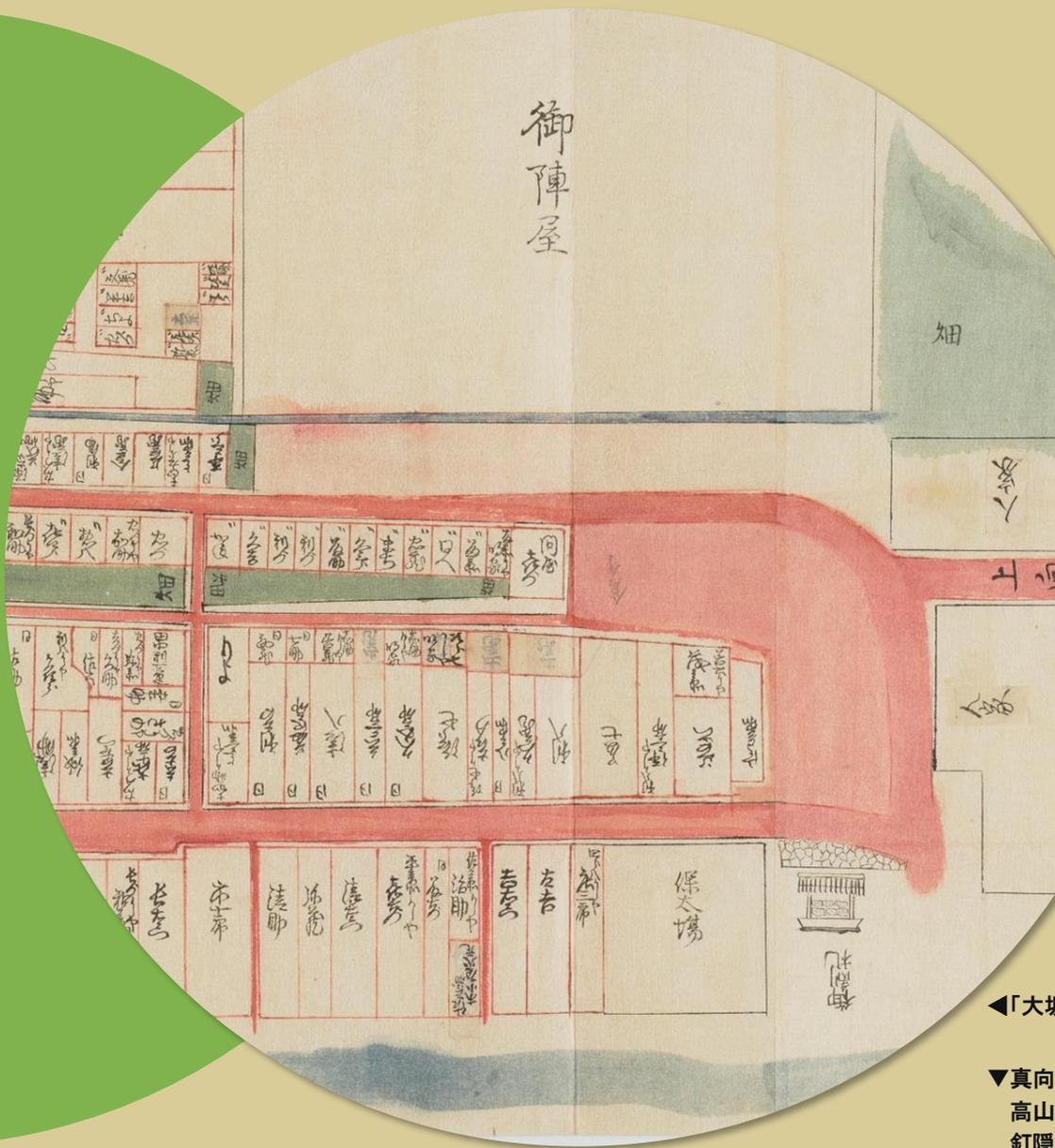


城下町から陣屋町へ — 絵図からひも解く高山の変遷 —

107年間にわたって飛騨国を治めていた金森氏が
元禄5(1692)年に国替えとなり、飛騨国は幕府直轄領となりました。
その後、金森氏の下屋敷に代官所(陣屋)が移され、
幕末まで陣屋は飛騨国の行政の中心となっていました。
飛騨国の支配が金森氏から江戸幕府へ移り変わったとき、
高山町にはどのような変化が生じたのでしょうか。
高山城を中心とした「城下町高山」から陣屋を中心とした
「陣屋町高山」への変遷を、絵図などの史料から紐解いていきます。



◀「大坂屋火災図」(部分) 個人蔵

▼真向兎(まむきうさぎ)
高山陣屋の所々で見られる
釘隠しに使われた装飾



◆日時 令和6年度

10/5(土)~11/24(日) ※臨時休館日を除く
8:45~17:00 ※11月は8:45~16:30

◆会場

高山陣屋 9番蔵 (高山市八軒町1-5)
※通常の入場料(440円・高校生以下無料)にて見学可能です。

◆問い合わせ先

高山陣屋管理事務所 TEL. 0577-32-0643



第39回国民文化祭 第24回全国障害者芸術・文化祭
「清流の国ぎふ」文化祭2024
ともに・つなぐ・みらいへ ~清流文化の創造~
2024年10月14日(月・祝)~11月24日(日)

